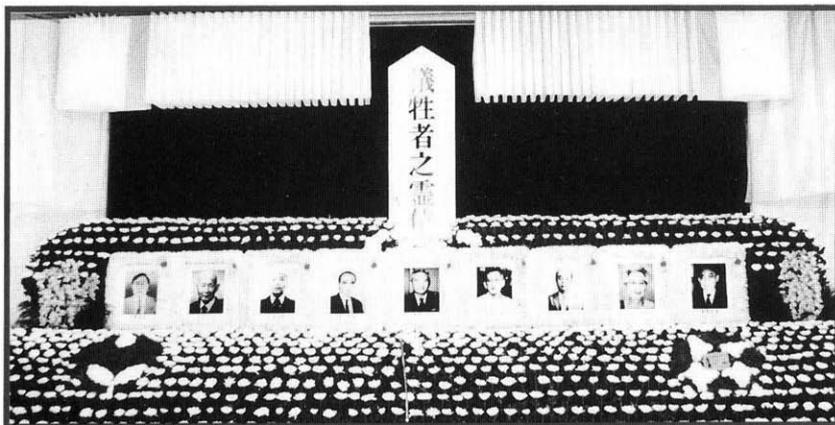


MEDICAL **2** ACTION

合同
慰靈祭

兵庫県医師会・神戸市医師会 阪神・淡路大震災合同慰靈祭



兵庫県医師会・神戸市医師会 阪神・淡路大震災 合同慰霊祭

日時●平成7年4月16日(日)午後1時~2時 会場●神戸市医師会館

式次第

- 一、開 会
- 一、黙 禱
- 一、式 辞/実行委員長 瀬尾 攝
- 一、追悼の辞/日本医師会会長 村瀬 敏郎
/兵庫県知事 貝原 俊民
/神戸市長 笹山 幸俊
- 一、追悼電報奉読
- 一、鎮 魂 歌
- 一、ご遺族献花
- 一、主催者 ご来賓献花
- 一、謝 辞/実行副委員長 皆木 吉泰
- 一、参列者献花
- 一、閉 会

物故会員の御芳名

- 東灘区 生駒純一郎先生
- 東灘区 小長谷ます先生
- 東灘区 杉山 輝夫先生
- 東灘区 高橋 一雄先生
- 灘 区 田所 順先生
- 長田区 永田昭一郎先生
- 長田区 小西 幸雄先生
- 加古川市 竹田 正次先生
- 加古郡 小亀 正昭先生
(順不同)

去る4月16日(日)に合同慰霊祭が神戸市医師会館で厳粛に執り行われました。

当日は小雨のばらつく天気でしたが、日本医師会会長村瀬敏郎様をはじめ全国各地から都道府県・十三大都市・近隣の医師会長、医師会員、その関係者及び行政関係者の皆様(約400名)が参列されました。

慰霊祭に先立ち控室においてご遺族の皆様へ日本医師会村瀬会長、兵庫県医師会瀬尾会長、神戸市医師会皆木会長より各々お悔やみの言葉と弔慰金が手渡されました。

午後1時から、亡き9人の先生の遺影が白い菊花で囲まれた祭壇を正面にした会場で慰霊祭が開始されました。

黙禱につき、瀬尾攝実行委員長の式辞、日本医師会会長村瀬敏郎様、兵庫県知事貝原俊民様、神戸市長笹山幸俊様のお3方より追悼の辞がありました。追悼の辞を聞きながら在りし日の故人を偲び、先日の生死を分けた運命的な出来事に思いをはせた方も多かったのではないかと拝察いたします。

式はご遺族献花、主催者、ご来賓献花と運ばれ、皆木吉泰実行副委員長の謝辞につき、一般参列者献花で合同慰霊祭は閉会しました。

亡くなられた9名の先生方の魂が安らかに眠られることをお祈り申し上げます。 合掌

式 辞

実行委員長 瀬尾 攝

瓦礫の街に桜の花は今年も美しく咲きやがて散っていき
ました。

年々歳々花相似

歳々年々人不同

咲く花を再び賞づることは出来ても亡った友に再び会える日はもう二度とありません。

この度の阪神・淡路大震災に尊い犠牲となられた物故会員の兵庫県医師会、神戸市医師会合同慰霊祭をとり行うに



あたり委員長として式辞を申し上げます。

あの1月17日午前5時46分お正月気分抜けやらぬ連休明けの未明、阪神間には地震はないという通説の上に安眠をむさぼっていた私達の虚をつく如く、あの大震災が起こったのでした。震度7、大都市直下型といわれる激烈な大地震は、我が国の災害史上に未曾有と言われる大きな被害をもたらしました。物故者は5500人を越え負傷者35000人倒壊家屋20万棟、その損害見積り額は10兆円を越えると言われます。

兵庫県医師会においても全壊全焼は病院8、診療所は199、半壊半焼は病院15、診療所247、診療機能を喪失した医療機関は、震災直後で1000を越すという医師会の歴史にかつてない大きな損害を蒙り、9人の尊い会員の生命を奪われるに至ったことは、まことにかえすがえすも痛恨の極みであります。

生駒純一郎先生 小長谷ます先生 杉山 輝夫先生
高橋 一雄先生 田所 順先生 永田昭一郎先生
小西 幸雄先生 竹田 正次先生 小亀 正昭先生

先生方はいずれも医師会員として、永い間兵庫県の地域医療のために大きな貢献をなされた方々ばかりでありました。

兵庫県医師会も神戸市医師会も共に全国でも最も進んだ地域医療の実績を持つ医師会として各方面から高い評価を受けてきましたが、これらはひとえに先生方の医師としての高い使命感にもとづいた真摯なご努力の賜物に他ならないものでした。

今 思いもかけずこの様に多数の優れた先生方を失った私達は、深い悲しみに沈みながら志半ばにして逝かれた先生方のご無念を思い、ご家族の愛惜の念をしのんで胸ふさ

がる思いで一杯でございます。大震災の直後から私達医師会員は自らの被害を顧みるいとまもなく、医師本来の使命である地域住民の生命と健康とを護るために、救急救護活動に全力をあげて取り組んでまいりました。全国の医師会員の強力な支援を受けて、あの混乱した条件の下に立派な成果をあげることが出来たことは、先頃の第20回日本医学会総会の席上をはじめ、あらゆる機会に誇りをもって報告させて頂いておりますが、これは不幸にして震災のために逝かれた先生方の在天のはげましとお力添えによるものと、心から感謝しております。

あの日以来やっと3カ月が経ちましたが、もう何年も昔のこの様に思われてなりません。廃虚と化した街も少しずつ平常化に向かい、医師会も次第に立ち直りつつありますが、何としても受けたダメージは深刻であり、震災前の状態まで復活するにはまだまだ長い年月がかかると覚悟しなければなりません。ただどの様に長い年月がかかっても、どの様に困難な障害があっても、私達は全医師会員が力を併せて必ずやかつての全国に高く評価された兵庫県医師会の輝かしい姿を再現してみせることをここに固く約束いたします。

それが先生方のご遺志にむくいる最も正しい道だと信じるからです。

どうか先生方、私達のこれからの努力を雲の上から見守って下さるようお願い致します。それではお別れしなければなりません。御霊の安らかな眠りにつかれますことを念じつつ

在まさねば 瓦礫の路を 追いゆかむ

平成7年4月16日

追悼の辞 日本医師会長 村瀬 敏郎

阪神・淡路大震災による医師会員犠牲者合同慰霊祭に当たり、日本医師会を代表してここに謹んで追悼の辞を申し上げます。

去る1月17日早朝、突如として発生した兵庫県南部地震は全国民にとって思いもかけない大天災でありました。特に被災地の兵庫県においては多数の死者と負傷者を出すとともに30万人をこえる人びとの生活基盤を根底から壊滅させることになりました。誠に心の痛むところであります。

この中に多くの兵庫県医師会員がおられ、それぞれ苦境に立たされたことは誠にお気の毒の一語しかありません。特に9名の会員が貴い命を奪われましたことは私共医師会会員にとって痛恨の極みであります。心からご冥福をお祈



りする次第であります。

全国の医師会員は率先して少しでも被災会員のお役に立とうと最大の努力をしてくださいましたが、いかにしても9名の方々の命を戻すことはありません。

常日頃、良き同僚として、地域医療に手を携えて精進し

時には安息の交流を楽しんだ思い出の数々は我々の脳裏から消えることなく思いを馳せるたびに悲しみが増すばかりであります。

本日 兵庫県医師会並びに神戸市医師会による合同慰霊

祭が執り行われるに当たり、亡くなられた方々のご功績とご遺徳を偲び、我々一同は深く哀悼の意を表しご冥福を祈る次第であります。

先生方どうぞ安らかに眠りください。平成7年4月16日

追悼の辞 兵庫県知事 貝原 俊民

人の形をときて思いのすべてを天に返して

君は風になりぬ 母へ

これは、がれきの山の中に花と少しばかりの食べ物を添えて置かれていた紙きれにペンで書きしるされてあった言葉です。

さる1月17日未明深い眠りを破って阪神・淡路を襲った未曾有の大震災—消防、警察、自衛隊はもとより自らも被災者である医師看護婦の皆さんをはじめとした医療関係者の方々の懸命の救命救助活動にもかかわらず、悲しくも犠牲となられた9名の先生方を含む県民の皆様が無念に残されたご遺族のご心痛をお察しするとき、胸をかきむしられる想いであり、ただただ衷心より哀悼の誠を捧げるばかりです。しかしながら、私たちはこの大震災に膝を屈するわけにはまいりません。厳しい寒さにも耐え抜き、いま大地に若い緑が芽吹いているように、心や街に刻まれた傷痕がいかに深く辛いものであってもそれを乗り越え輝ける兵庫の復興をめざして全力を傾けていくことこそ、犠牲となられた多くの御霊にお応えする道だと思えます。

反省すべき点については厳しくこれを検証し、予測し得ない災害が発生した場合の危機管理のあり方や災害時における医療体制を確立するための災害医療システムについても、早急に検討しながら国内外に誇りうる先導的な防災体制を確立したいと考えています。

幸い明るい希望の灯も幾つかとりました。

身内を亡くしたり、病院や診療所、家を失うという厳しい状況の中にありながら、高齢者や障害者を思いやり、努めて明るい笑顔を絶やさず献身的に診療に従事されている医療関係者の方々の姿に深い感動を覚えます。

追悼の辞 神戸市長 笹山 幸俊

本日、ここに兵庫県医師会並びに神戸市医師会合同慰霊祭が執り行われるにあたり、犠牲となられた会員の皆様から哀悼の誠を捧げます。

1月17日、午前5時46分、阪神・淡路地域を激震の渦に巻き込んだこのたびの大震災は観測史上例をみない震度7



また国内外から寄せられる救援物資や真心のこもった義援金に加えて、多くのボランティアの皆さんの献身的な活動、いつもは疎遠にしている方からも温かいお見舞いの手紙が届けられるなど、人の縁の強さを改めて実感しています。

このように共に生きる考えを基本として「こころ豊かな兵庫」をめざす県政の理念が、多くの人びとと共有する想いであることを、この機会に改めて確認できたことは大きな支えであり、明日につながる光でもあります。いよいよ新学期も始まり、被災した街に復興への槌音が力強く響き、人々のたくましい営みが蘇りつつあります。この街を愛する皆様の熱い想いを基に、県政としても温かい心が通い合う世界に開かれた「人間中心のまちづくり」をめざして、救急医療システムの充実や福祉のまちづくりの推進など、成熟社会にふさわしい保健・医療・福祉の確立に向け、全力を傾注することをお誓い申し上げます。どうぞ遙か天上より私たちをお見守りください。ここに550万県民を代表して、御霊の安らかならんことを衷心よりお祈り申しあげ、あわせてご遺族がこの悲しみから一日も早く立ち直られるよう念願し追悼の言葉といたします。

平成7年4月16日

を記録した直下型大地震でありました。一瞬にして多くの家屋や建物を破壊し、5500余名の尊い命を奪うとともに、広範囲にわたる火災の発生など、甚大な被害をもたらしました。

神戸市内だけでも3890名の方々が、この大地震の犠牲となられ、兵庫県医師会・神戸市医師会におかれましても9名もの会員の方の尊い命が失われましたことは、誠に残念でなりません。いま、ご遺族の皆様方の悲しみを拝察い

たしますとき、お慰めの言葉もございません。

地震発生後、神戸市では、直ちに災害対策本部を設置し、人名救助と消火活動を最優先に全力をあげてまいりました。今までに誰もか経験したことのない状況の中で国、県、市及び市民が一体となり、さらに全国からそして世界各国からの支援を受けて、被災者の救援活動に邁進してまいりました。

兵庫県医師会、神戸市医師会の会員各位におかれましては、地震発生以来、会員ご自身が甚大な被害をうけながらも、被災された方々のため、救急医療からさらには被災住民の健康管理等献身的な救護活動をいただき、地域医療を担う医療機関として昼夜をいとわぬ献身的なご活動に頭の下がる想いであります。

地震発生から、はや3カ月が過ぎようとしております。まちにも、ようやく復興の光が見えてまいりました。皆様温かいご支援のもと、この深い悲しみを乗り越え、一刻もはややく被災された方々に生活の再建ができるように全身



全霊を傾けるとともに、一日もはややく安全な新しい神戸を築くことが、犠牲となられた皆様方に報いる我々の使命であると信じております。

最後になりましたが、犠牲となられた方々の御霊の安らかなるご冥福を心よりお祈り申し上げ追悼のことばといたします。

謝 辞

実行副委員長 皆木 吉泰

本日、阪神・淡路大震災により物故されました9名の先生方に対して、兵庫県医師会・神戸市医師会の合同慰霊祭を営みましたところ、日本医師会長、兵庫県知事、神戸市長を始め多数の方々のご参列を賜りました。亡くなられた先生方もせめてものこととお許し下さるかとお察しております。

肉親の死は平素においてもご遺族の方々にとりましては大きな悲しみであります。

今回は、ご遺族の悲しみに加え被災後の不安な生活は心を悩まされておられ、そのご心労のほどご同情に堪えませぬ。

どうぞ今後とも故人と同様にご遺族に対して変わらぬご交誼と激励を賜りますよう、せつにお願い申し上げます。



ます。

本日は、公私極めてご多忙のところご参列を賜りました村瀬日本医師会長様 貝原兵庫県知事様 笹山神戸市長様を始め多数の方々にご心からお礼申し上げます、兵庫県医師会・神戸市医師会合同慰霊祭の謝辞といたします。

平成7年4月16日

合同慰霊祭出席者名簿

敬称略・順不同(平成7年4月16日)

兵庫県

知 事 貝原 俊民
保健環境部長 川村 隆
福祉部長 釜本 貞男
兵庫県議会議長 神戸 一全

神戸市

市長(助役) 小川 卓海
衛生局長 坪井 修平
民生局長 喜且 元和
県選出国會議員
衆議院議員 井上 喜一

衆議院議員 渡海紀三朗
参議院議員 石井 一二
衆議院議員(代理) 石井 一
衆議院議員(代理) 高見 裕一
衆議院議員(代理) 原 健三郎
参議院議員(代理) 河本 三郎

日本医師会

会 長 村瀬 敏郎
代議員会議長 浜西寿三郎
(本会名誉会長)

都道府県医師会

群馬県医師会会長 家崎 智
埼玉県医師会副会長 井上 久
東京都医師会会長 福井 光壽
神奈川県医師会理事 栴岡 勇雄
新潟県医師会副会長 黒川 恒男
静岡県医師会会長 高野 成夫
(中部医師会連合委員長)
和歌山県医師会会長 杉浦 實
(近畿医師会連合委員長)
鳥取県医師会副会長 音田 誠介
島根県医師会会長 近藤 浩平
(大田市医師会会長)
広島県医師会会長 福原 照明
山口県医師会専務理事 岡澤 寛
香川県医師会会長 久米川久夫
愛媛県医師会会長 村上 郁夫
高知県医師会副会長 中澤誠一郎

福岡県医師会会長 松田 一夫
佐賀県医師会副会長 凌 俊郎

十三大都市医師会

札幌市医師会会長 樋口 忠
仙台市医師会会長 千田 典男
千葉市医師会会長 藤森 宗徳
横浜市医師会理事 田中 慎一
名古屋市医師会副会長 浅井喜久雄
広島市医師会会長 真田 幸三
北九州市医師会副会長 松永 等
福岡市医師会会長 大熊 隆人

関係団体

兵庫県保健所長会長 北岡 修
兵庫県歯科医師会副会長 長濱 禎昭
兵庫県薬剤師会会長 岡田 重一
兵庫県病院協会副会長 西村 和夫
兵庫県私立病院協会会長 北村 行彦
兵庫県
臨床衛生検査技師会理事 酒井 健雄
兵庫県放射線技師会会長 大森 博親
兵庫県理学療法士会会長 八木 範彦

兵庫県歯科衛生士会会長 森岡 典子
兵庫県支社基金幹事長 阪本 秀志
兵庫県国保連合会専務理事 塚本 勝保
兵庫県医師会参与 安東 三郎
兵庫県医師会参与 藤戸 孝純
兵庫県医師会参与 横田 友二
兵庫県医師会参与 朝比奈 勝
神戸市医師会顧問 村上 創
神戸市医師会顧問 林 肅一
参与 高田 静夫
参与 平戸 喜信
参与 長谷川 茂
参与 岡田 侑
参与 石原 弘潤
参与 森脇 (夫人)

その他、郡市医師会長、一般会員、都道府県医師会事務局長、本会役員、神戸市医師会役員等多数参列。

会長所感

その13(平成7年4月19日)

瀬尾 攝

災害発生後、ようやく100日めが廻って来ようとしています。

被災された市民のための仮設住宅も2万戸を越え、避難所におられる市民も6万人を割りました。部分的ながらそごうや大丸などのデパートも再開し、あの忌しい廃虚のムードも少しずつ明るさを増してきたようです。

大震災でなくなられた9人の会員のご冥福を祈り、ご遺族の傷心を慰め、併せて私たち医師会員自身の心のけじめを求めて、4月16日には神戸市医師会館で医師会の歴史始まって以来の兵庫県医師会、神戸市医師会合同の慰霊祭を執り行いました。折から粉塵にまみれた私たちの心を洗い流すかのように、細雨の降りそぼる中を日本医師会村瀬会長や兵庫県具原知事を始め全国の医師会や地元関係団体の代表の方々が多数お参

り頂き、大勢の医師会員の参列を得て、大変すがすがしい慰霊祭ができたことを本当に嬉しく思います。弔辞の中で具原知事が今回の震災に際して、県民の救急医療活動に県医師会の努力を高く評価されたことは、私にとって嬉しく聞きました。

慰霊祭の様子はテレビでも全国で放映され、東京に行った時も各地の先生からお悔やみの言葉がありました。率直に言って首都圏では阪神大震災はもはや巷の話題の中心ではなく、新聞の第1面を飾ることもほとんど無くなりました。今や人々の関心はもっぱらサリンでありオウムの方行です。

しかしたとえ外部の人々の関心は去っても支援は得られなくなっても、私たちは黙々と自分の力で復興をやり遂げなければならないのです。